



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月13日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
 コード番号 5724 URL <https://www.asaka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 油木田 祐策
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 山田 浩太 TEL 024-944-4744
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	6,018	9.3	355	634.6	357	-	268	194.0
2020年9月期第3四半期	5,505	△30.3	48	△71.3	28	△82.0	91	△12.2

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 274百万円 (130.1%) 2020年9月期第3四半期 119百万円 (8.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	53.19	53.07
2020年9月期第3四半期	17.98	17.95

(注1) 2021年9月期第3四半期の経常利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「-」と記載しております。

(注2) 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第3四半期	7,119	3,411	47.7	671.28
2020年9月期	6,911	3,113	45.0	616.13

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 3,395百万円 2020年9月期 3,107百万円

(注) 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2021年9月期	-	0.00	-	-	-
2021年9月期（予想）	-	-	-	8.00	8.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年9月期については、当該株式分割前の実際の年間配当金の金額を記載し、2021年9月期（予想）については、当該株式分割後の年間配当金の金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2021年9月期（予想）の年間配当金は、16円00銭となります。

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,042	8.5	405	374.3	401	533.0	310	157.9	61.36

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注2）当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

（注3）連結業績予想の修正については、本日（2021年8月13日）公表いたしました「2021年9月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	5,144,600株	2020年9月期	5,144,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	85,750株	2020年9月期	100,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	5,049,655株	2020年9月期3Q	5,080,836株

当社は、2021年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が段階的に進み始める等、経済活動の正常化に向けた動きが見られ、企業収益は製造業を中心として持ち直しの動きが続きました。一方で、先行きについては変異株による感染者数が増加傾向にあることから、更なる感染拡大及び長期化の懸念があり、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社グループにおいてはステイホームやテレワーク等、ライフスタイルが変化したことに伴う民生機器関連市場での需要拡大による取引先の生産回復を受けて、貴金属の取扱い数量は前期を上回りました。主要製品の内、貴金属の価格は足元では米国長期金利の上昇等により、上昇幅は限定的となっておりますが、米中貿易摩擦の長期化や新型コロナウイルス感染症の世界的拡大等の不確定要素により、安全資産としての需要が高まったことで前期を上回る水準となりました。銅の価格は新型コロナウイルス感染症から回復した中国での需要増加に加え、米国新政権の大規模経済対策により、米国経済の回復への期待が高まったことで前期を上回る水準となりました。

このような事業環境の中、当社グループは持続的な成長を果たすべく、一段と経営資源を集中させ、事業ポートフォリオの再構築に努めました。

既存事業では新型コロナウイルス感染症により営業活動が制限される中においても、取引先とのリレーション強化に努め、回復していく市場において着実に取引を拡大することができました。また、貴金属材料の供給や既存工程の改善等、更なる収益化に向けた技術開発にも注力しております。

新規事業ではリチウムイオン電池 (LiB: Lithium-ion Battery) 再生事業の研究開発及び事業化に注力し、事業スキームの構築を目的とした事業パートナーとの連携につきましては、第一段階として、東邦亜鉛株式会社との間に前処理プロセスの確立を目的とした共同研究開発契約を締結いたしました。同社とは共同研究開発の範囲に留まらず、事業化フェーズへの移行後につきましても、同じ福島県いわき市という工場立地条件を活かし、共同で事業を進めていく方針です。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は売上高6,018百万円 (対前年同四半期9.3%増)、営業利益355百万円 (同634.6%増)、経常利益357百万円 (前年同四半期は28百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益268百万円 (対前年同四半期194.0%増) となりました。売上高は貴金属の取扱い数量並びに主要製品価格が前期を上回ったこと及び2019年に発生した台風19号による水害被害からの復旧が完了したことにより、増収となりました。利益面では事業ポートフォリオの再構築を目的とした事業戦略の見直し実施により利益率の改善が図られたことに加え、台風による水害被害からの復旧が完了したことにより、増益となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額はセグメント間取引を含んでおります。

(貴金属事業)

貴金属の売買を伴わない受託加工取引の割合が増加したことにより販売数量が減少した一方、貴金属の取扱い数量並びに価格が前期を上回ったことにより、売上高は5,279百万円 (対前年同四半期4.7%増) の増収となりました。セグメント利益は事業戦略の見直し実施により、利益率改善が図られたことで、234百万円 (同166.4%増) の増益となりました。

(環境事業)

銅の販売価格が前期を上回ったことに加え、台風による水害被害からの復旧が完了したことにより、主力製品である銅ペレット及び無機薬品の販売数量が増加したことで、売上高は629百万円 (同69.5%増)、セグメント利益は94百万円 (前年同四半期は51百万円の損失) の増収増益となりました。

(システム事業)

注力してきた販促活動の効果により、主力製品である品質管理システムの販売が増加したことで、売上高は100百万円 (対前年同四半期19.4%増)、セグメント利益は8百万円 (同135.6%増) の増収増益となりました。

(その他)

その他に含まれる運輸事業等は、台風による水害被害からの復旧が完了したことにより、連結グループ内の受注が回復したことで、売上高は228百万円 (同36.3%増)、セグメント利益は20百万円 (前年同四半期は11百万円の損失) の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて207百万円増加し、7,119百万円となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が111百万円、棚卸資産が224百万円増加し、現金及び預金が62百万円減少したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて89百万円減少し、3,707百万円となりました。

主な要因は、借入金81百万円、賞与引当金が47百万円減少し、借入金地金が32百万円増加したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて297百万円増加し、3,411百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が265百万円、その他有価証券評価差額金が12百万円増加したことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の通期連結業績予想につきまして、当第3四半期連結累計期間の実績や足元の事業環境を踏まえて2021年5月12日に公表した予想数値を修正いたします。詳細につきましては、本日(2021年8月13日)公表の「2021年9月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848,046	1,785,447
受取手形及び売掛金	339,988	451,230
電子記録債権	24,468	21,835
商品及び製品	634,464	940,219
仕掛品	448,670	441,317
原材料及び貯蔵品	145,459	71,336
その他	165,272	173,217
流動資産合計	3,606,370	3,884,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,346,717	2,178,268
減価償却累計額	△1,241,601	△1,252,029
建物及び構築物(純額)	1,105,115	926,238
機械装置及び運搬具	2,335,876	2,433,306
減価償却累計額	△2,003,151	△2,077,455
機械装置及び運搬具(純額)	332,725	355,850
土地	1,362,987	1,362,987
リース資産	29,559	20,514
減価償却累計額	△28,339	△16,389
リース資産(純額)	1,219	4,125
建設仮勘定	102,057	24,136
その他	192,882	199,956
減価償却累計額	△172,538	△179,687
その他(純額)	20,343	20,269
有形固定資産合計	2,924,449	2,693,607
無形固定資産	39,330	32,402
投資その他の資産		
投資有価証券	102,490	120,965
繰延税金資産	570	1,353
退職給付に係る資産	89,072	87,078
その他	149,166	456,269
貸倒引当金	△350	△157,219
投資その他の資産合計	340,949	508,448
固定資産合計	3,304,729	3,234,458
資産合計	6,911,099	7,119,063

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,711	174,781
短期借入金	1,695,801	1,568,742
リース債務	1,247	990
未払法人税等	57,395	35,399
借入金地金	414,867	447,836
賞与引当金	104,412	56,418
災害損失引当金	—	1,580
その他	170,016	214,586
流動負債合計	2,623,451	2,500,335
固定負債		
社債	330,000	330,000
長期借入金	438,704	484,684
リース債務	—	3,547
繰延税金負債	81,548	92,828
長期未払金	244,970	240,692
資産除去債務	49,036	49,710
その他	29,859	5,852
固定負債合計	1,174,119	1,207,316
負債合計	3,797,571	3,707,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	354,211	360,358
利益剰余金	2,242,098	2,507,371
自己株式	△48,443	△41,353
株主資本合計	3,052,162	3,330,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,412	68,316
繰延ヘッジ損益	△5,478	△4,523
為替換算調整勘定	3,573	—
退職給付に係る調整累計額	2,182	1,431
その他の包括利益累計額合計	55,688	65,225
新株予約権	1,328	11,215
非支配株主持分	4,348	4,298
純資産合計	3,113,528	3,411,411
負債純資産合計	6,911,099	7,119,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,505,738	6,018,762
売上原価	4,478,642	4,581,593
売上総利益	1,027,095	1,437,169
販売費及び一般管理費	978,730	1,081,877
営業利益	48,365	355,292
営業外収益		
受取利息	57	23
受取配当金	176	169
受取賃貸料	3,433	3,442
受取補償金	10,075	—
借入地金評価益	—	10,422
為替差益	—	14,050
その他	5,707	14,367
営業外収益合計	19,451	42,475
営業外費用		
支払利息	15,085	14,315
地金借入料	10,807	11,807
為替差損	8,311	—
支払手数料	1,537	13,937
その他	3,686	449
営業外費用合計	39,428	40,510
経常利益	28,388	357,257
特別利益		
受取保険金	462,578	5,058
特別利益合計	462,578	5,058
特別損失		
固定資産除却損	873	929
災害による損失	295,073	6,650
減損損失	—	16,048
災害損失引当金繰入額	1,611	1,580
関係会社整理損	75,800	—
特別損失合計	373,358	25,207
税金等調整前四半期純利益	117,607	337,108
法人税、住民税及び事業税	27,489	60,094
法人税等調整額	△1,166	8,473
法人税等合計	26,322	68,568
四半期純利益	91,284	268,539
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△60	△49
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,345	268,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	91,284	268,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,107	12,904
繰延ヘッジ損益	1,589	955
為替換算調整勘定	1,414	△7,312
退職給付に係る調整額	814	△750
その他の包括利益合計	27,926	5,797
四半期包括利益	119,211	274,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,271	274,386
非支配株主に係る四半期包括利益	△60	△49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社の連結子会社であったASAKARIKEN(M)SDN. BHD. は清算手続き中であり、当社との間に有効な支配従属関係がなくなったことから、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,042,225	370,954	83,799	5,496,979	8,759	5,505,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	126	—	126	159,134	159,261
計	5,042,225	371,081	83,799	5,497,105	167,893	5,664,999
セグメント利益又は 損失(△)	87,856	△51,897	3,682	39,641	△11,252	28,388

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま
す。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計 (注) 2
	貴金属事業	環境事業	システム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,279,491	629,112	100,097	6,008,701	10,061	6,018,762
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	25	—	25	218,860	218,885
計	5,279,491	629,137	100,097	6,008,726	228,921	6,237,648
セグメント利益	234,060	94,316	8,674	337,051	20,206	357,257

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業等でありま
す。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

遊休資産について、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3
四半期連結累計期間においては16,048千円であります。